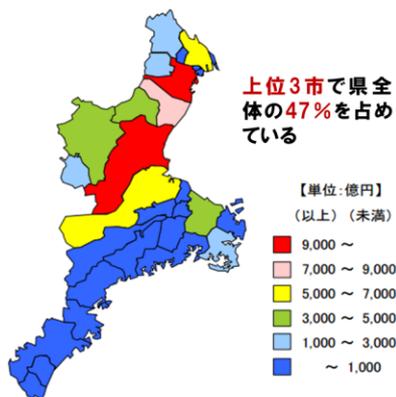
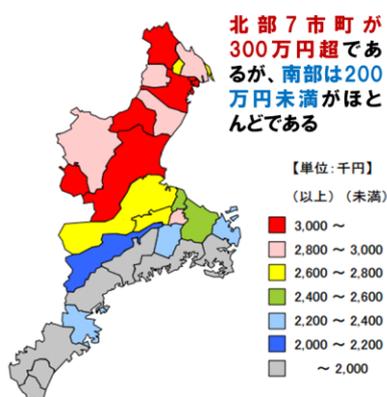


# 三重県の現状と三重大学の社会連携の考え方

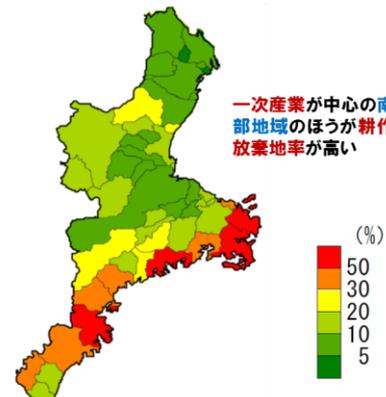
市町内総生産額(名目)



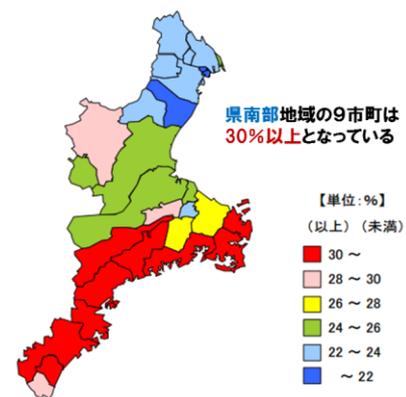
1人当たり市町民所得



市町別耕作放棄地率



老年人口割合

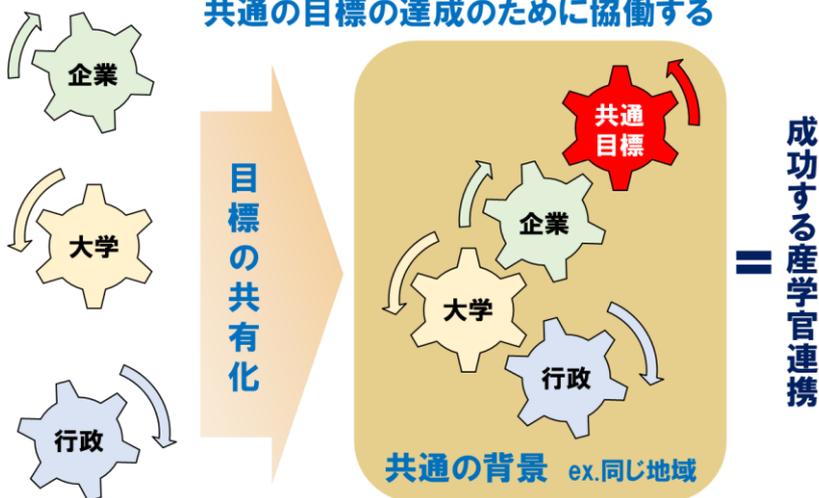


北部と南部の生活格差が増加し、三重県における南北問題となっている。

農林水産業が中心の南部で耕作放棄と高齢化が急速に進行している。

## 企業、大学、行政は、本来は目的が異なる存在

共通の目標の達成のために協働する



## 地域社会と地域企業と地方大学の関係



# 地域イノベーション学研究科の新設（平成21年）

## 地域産業界と連携した人材育成と技術開発に特化した大学院

（時代背景） \*構想した当時

産業界では複数の最先端技術の融合によって新事業・製品が生まれグローバルに展開することが頻繁に起こっており、三重地域圏の企業にも業界の変化に呼応した経営改革（第二創業）が必要となっているが、現実には個々の企業における「**研究開発力の脆弱さ**」と「**人材不足**」がその障害となっている。

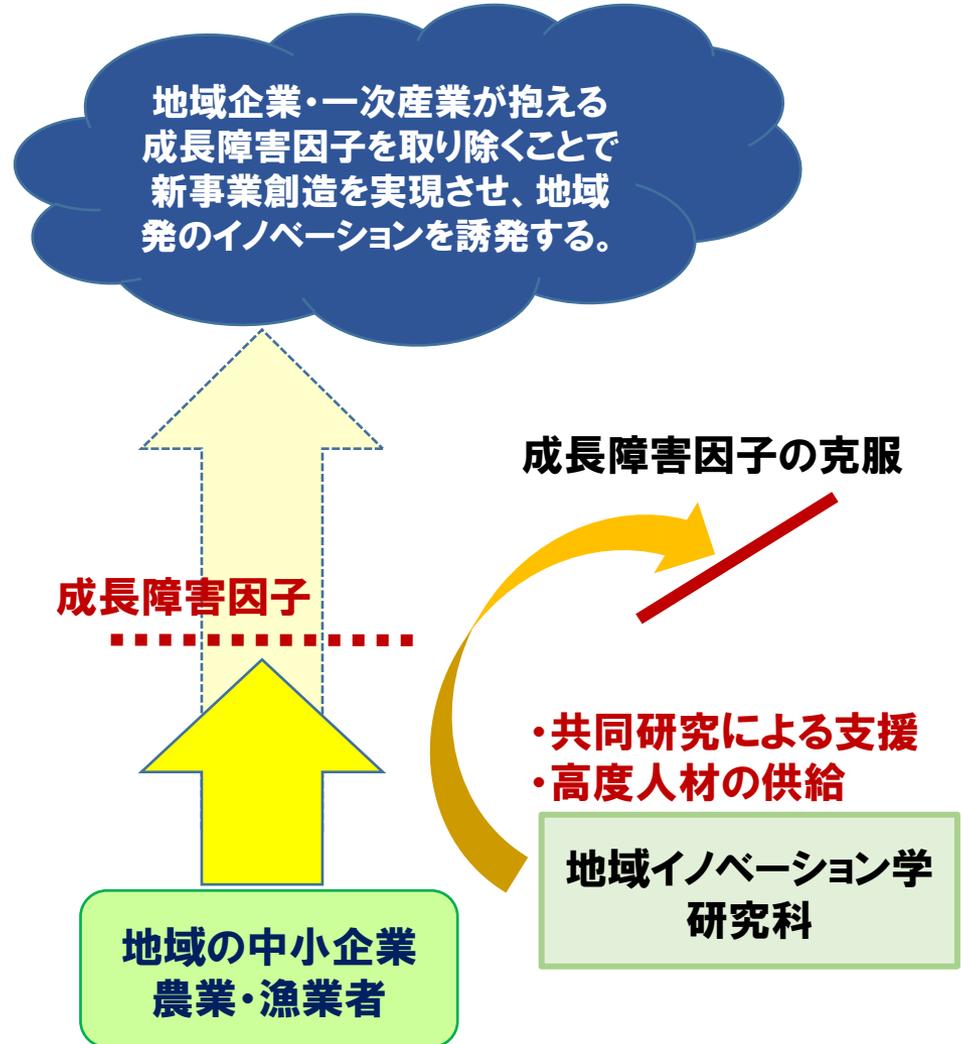


地域産業界から「**第二創業に貢献できる高度人材の育成**」と「**第二創業の基盤となる新技術構築への協力**」への期待が三重大学に対してあった。



\*平成21年4月

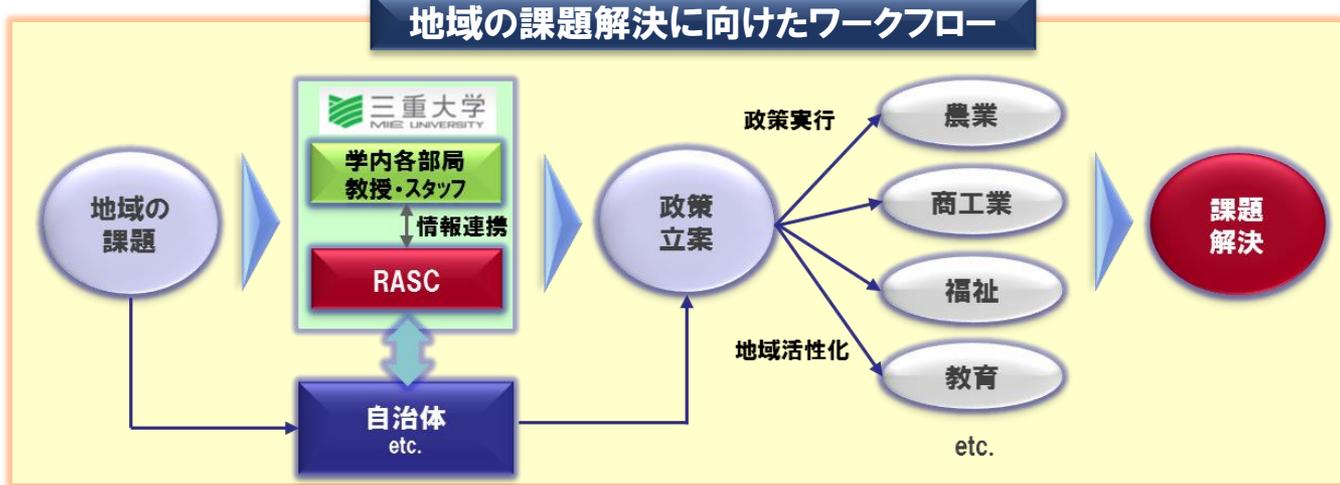
地域産業界からの期待に応えるために「**地域イノベーション学研究科**」を新設した。



# 三重大学地域戦略センターの設置（平成23年）

三重大学は、地域自治体、産業界の全体を見渡した政策提言と政策実現のための施策(プロジェクト)を提供する地域シンクタンクとして2011年4月に「**三重大学地域戦略センター-Regional Area Strategy Center : RASC(ラスク)**」を設置した。RASCは、地域イノベーション大学を指向する三重大学の社会連携の要として、地域活性化に資することを目的とした大学発のシンクタンクであり、大学が持つ知を活用し、自治体、産業界等と連携して、地域が抱える課題に対しての政策提言および施策展開を行っている。

## 地域の課題解決に向けたワークフロー



自治体から依頼される地域の課題に対して、RASCをワンストップとして大学教職員(研究室)と連携し、そのノウハウを活用した政策提言(立案)を行っている。

その後、自治体や産業界等と連携して政策を実行し、地域活性化を基本に据えた課題解決の実現を図る。

### 三重大学 地域戦略 センター

(平成23年度設置)

地域の自治体、大学、産業界の全体を見渡した政策提言と政策実現のための具体的な施策(プロジェクト)を提供する。

(最終目標)  
「大学発シンクタンク」として本格機能

地域の自治体への政策提言と研究科横断的プロジェクト・チームによる地域課題解決型プロジェクトを実施する。

「実践教育の場」を提供し、実践教育(On the Project Training)を通して「地域イノベーション人材」を育成する。

地域課題解決型の研究領域を広げることで、本学の研究成果・能力を地域社会に還元する機能を強化する。

社会貢献

教育の充実

研究の拡充